

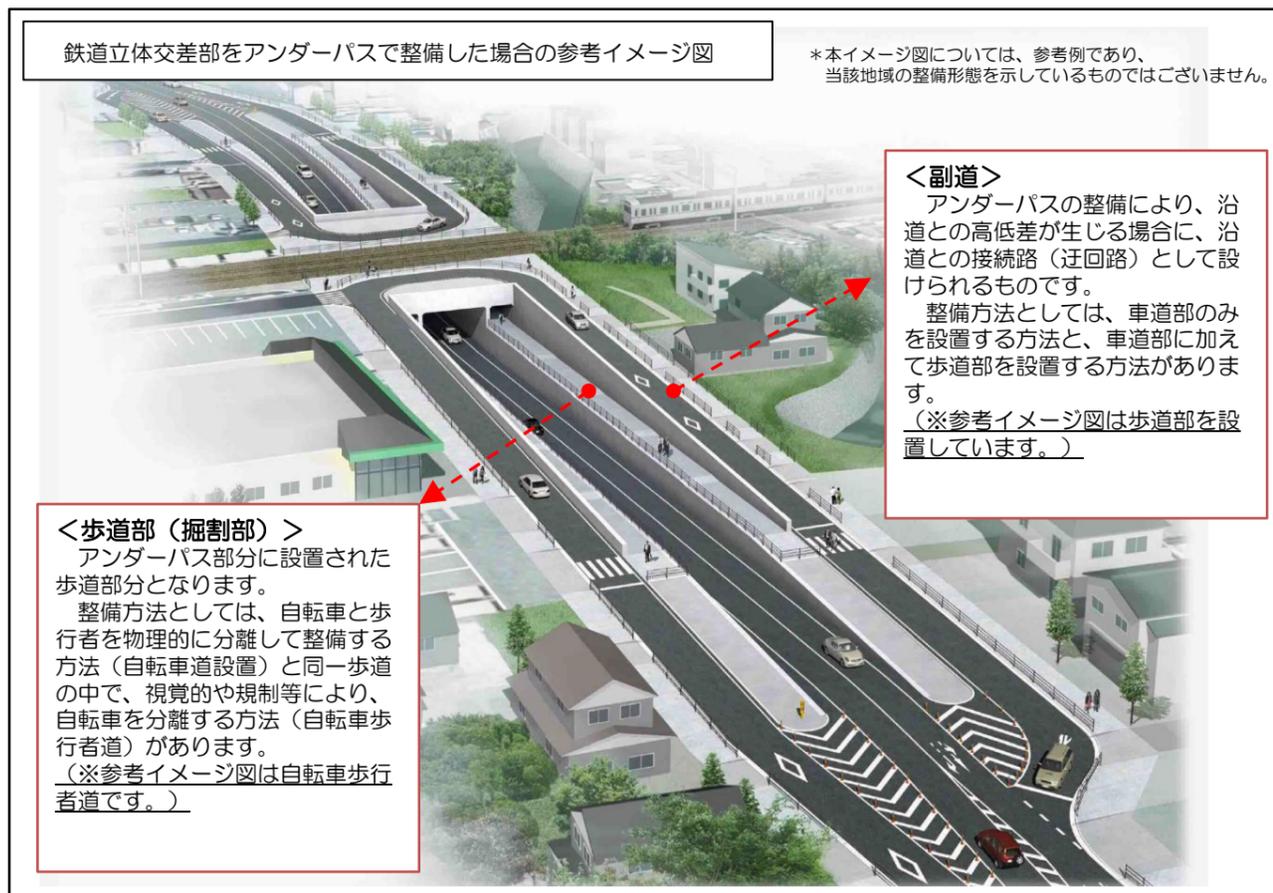
## ■ 整備に向けた課題等

検討対象区間（延長 約380m）における、西武拝島線及び国分寺線との鉄道立体交差部は、現在、道路幅員20.5mで都市計画決定がされております。

今後の整備に向けた課題として、今回のアンケート等の結果を参考に、地域の状況や安全性及び快適性を総合的に勘案した交差方法及び道路幅員の決定を検討する必要があると考えております。

（主な検討項目は以下の参考イメージ図を参照）

なお、現在の道路幅員（20.5m）を拡幅等の理由により改めて変更する場合は、都市計画法に基づき都市計画変更の手続きが必要となります。



## ■ その他

今後も引き続き、アンケート等を通じた地域の方々の御意見や、道路管理者及び交通管理者などの関係機関との調整・協議を行いながら整備に向けた検討を進めてまいりたいと考えております。

なお、「小平3・4・10号線に関するアンケート調査」の詳細につきましては、市ホームページやまちづくり課窓口及び西部市民センターでご覧になれます。

本アンケート結果や事業に関することなど、ご不明な点やご意見等につきましては、以下の問い合わせ先までお寄せください。

### 問い合わせ

小平市 都市開発部 まちづくり課 都市整備担当  
TEL 042-346-9828 (直通) FAX 042-346-9513  
E-mail dh0030@city.kodaira.lg.jp

# 小平3・4・10号線に関するアンケート調査結果報告

日頃より、小平市の街づくりに御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

現在、市では計画的に都市計画道路の整備を進めており、更なる都市基盤整備及び道路ネットワークの形成に向け、以下のとおり、将来の整備に向けた御意見等をお伺いするアンケート調査を実施しました。

御多忙の中、本調査に御協力いただき、大変ありがとうございました。

このたび、調査結果のとりまとめを行いましたので、概要のご報告をさせていただきます。

## 調査概要

### ・調査対象

調査対象区域における居住者及び土地建物所有者（計画線から、概ね50mの範囲）

### ・調査実施期間

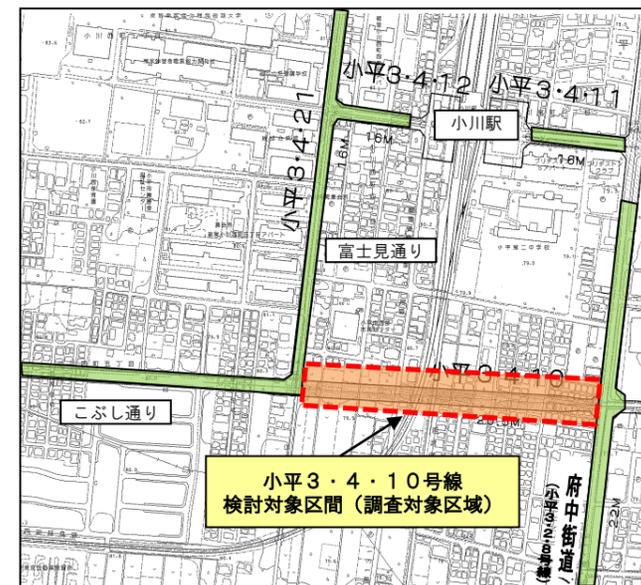
平成26年2月3日（月）～14日（金）

### ・配布枚数及び回収枚数

配布枚数	回収枚数	回収率
286枚	69枚	24.13%

### ・都市計画決定されている幅員及び区間延長

計画幅員	区間延長
16～20.5m	約380m



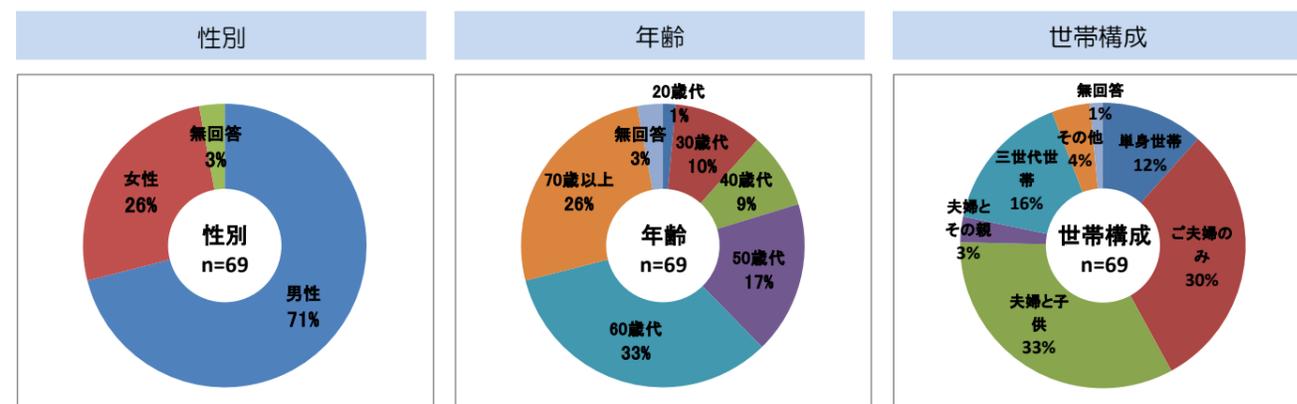
### 小平3・4・10号線とは

当該路線につきましては、栄町及び小川西町土地区画整理事業等と併せた整備により、東大和市境（栄町）から東側に向けて、順次整備を進めてまいりました。

なお、平成24年4月には、地域の皆様の御理解と御協力により、小平3・4・21号線（富士見通り）との交差部分が供用開始となっております。

また、検討対象区間については、平成25年度に策定された「小川駅前周辺地区まちづくりビジョン」で掲げられたまちの将来ビジョンにおいて、「まちの主要な幹線道路」と位置付けられており、生活道路の通過交通を解消する「新たな幹線道路」の整備に向けて、現在、市では様々な調査・研究を進めております。

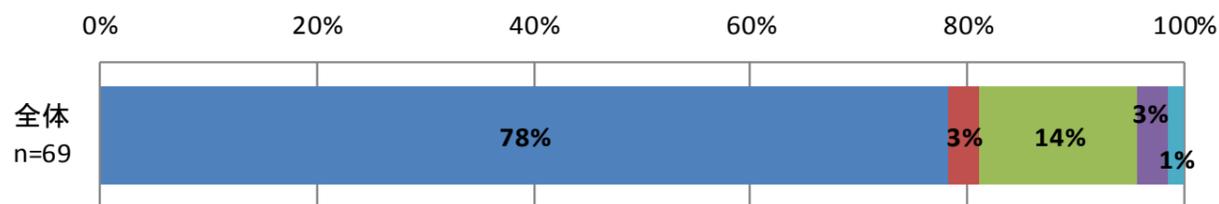
## 回答者の属性



\*グラフの数値は実際の数値の小数点2ケタ目を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならない場合がございます。

# ■アンケート調査結果

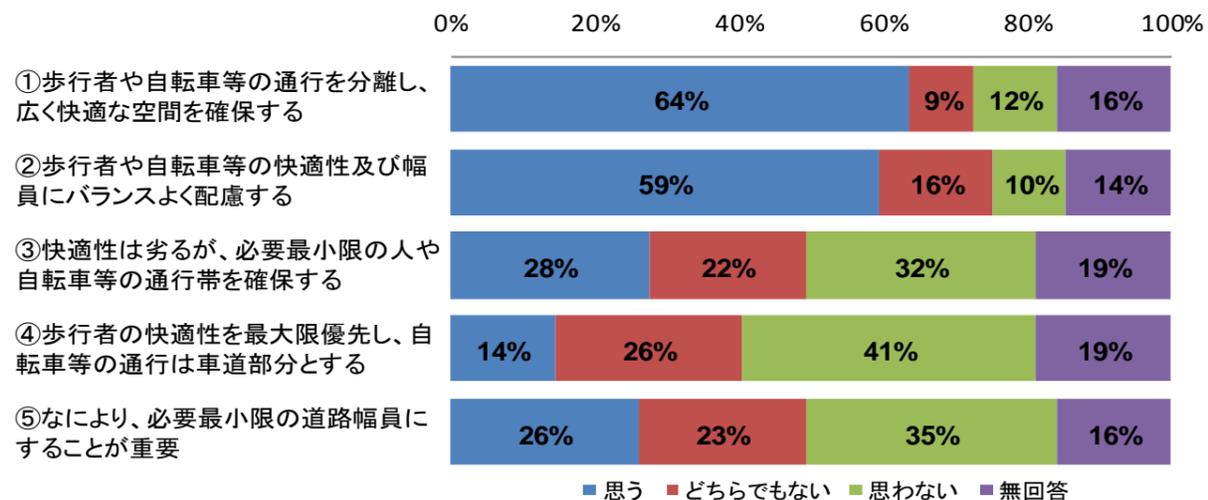
## 1. 小平3・4・10号線の認知度について



- 以前から知っている
- 小川駅前周辺地区の「まちづくりワークショップ」で知った
- 12月に市より配布された「小平市からのお知らせ」の案内により知った
- その他
- 無回答

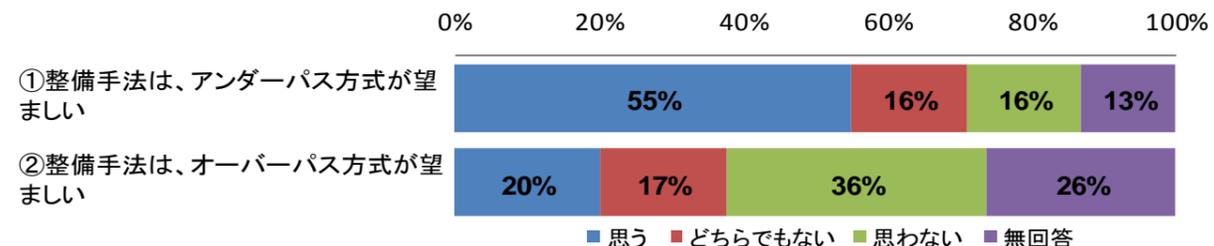
当該路線の認知度については、80%弱の方々が以前から知っていると答えており、加えて平成25年12月に配布いたしました「小平市からのお知らせ」で知った方も、15%弱いらっしゃいました。結果として、アンケートに御回答いただいた大部分の方々が、当該路線を認知しているという状況が伺えます。

## 2. 西武拝島線及び国分寺線との鉄道立体交差部を整備する際に、望まれるイメージについて



西武拝島線及び国分寺線との鉄道立体交差部を整備する際に、望まれるイメージについて、傾向としては、歩行者や自転車の通行に際し、十分な空間や安全性、快適性を求める声が多い傾向となっております。しかしながら、「何より必要最小限の幅員を望む」と回答された方々も26%程度いらっしゃることから、道路の幅員（拡幅）の検討にあたりましては、周辺地域への適合及び利用者の安全性・利便性の確保についてバランスのとれた整備を行うことが望ましいということが伺えます。

## 3. 西武拝島線及び国分寺線との鉄道立体交差部の整備手法について



西武拝島線及び国分寺線との鉄道立体交差部の整備手法（交差方法）については、アンダーパス方式が望ましいという声が多いという傾向となっております。

整備を進めるにあたりましては、周囲の景観への影響や鉄道立体交差部通行時の負担の軽減に対する十分な配慮を求める声が多いということが伺えます。

## 4. 自由記入欄に頂いた主なご質問についての回答

なぜ、このようなアンケートを行ったのですか？

アンケート調査対象区間については、平成25年度に策定された「小川駅前周辺地区まちづくりビジョン」や、その策定過程においても、周辺の渋滞等の安全対策に資する路線として、地域の皆様から、早期整備を望む声が多く届いております。そこで、周辺地域の皆様に対し、本路線に対する、率直な御意見を伺いたいと考え、アンケート調査を行いました。

整備を行う時期など、今後の予定を教えてください。

アンケート調査対象区間については、「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画・平成18～27年度）」において優先的に整備する路線としての位置付けはありませんが、地域の皆様の声や周辺の整備状況等から、整備に向けた研究を進めております。具体的なスケジュールは未定ですが、今後につきましても、様々な機会を捉えて、適宜、情報提供に努めてまいります。

現在、都市計画決定されている道路幅員（20.5m）では整備を進めることができないのですか？

西武拝島線及び国分寺線との鉄道立体交差部の道路幅員は、昭和37年に、当時の関係法令（基準）に基づき都市計画決定されております。現在の関係法令や地域の皆様が使いやすい構造で整備を進めるには、改めて歩行者、自転車や自動車が治道と調和し、安心して安全な通行空間を確保する必要があると考えております。また、他の同様な事例においても、鉄道立体交差部のある区間は、道路幅員を更に広げて整備を行っていることから、新たな視点で道路幅員を検討する必要があると考えております。

本事業に関する相談などは、どのようにすればいいのですか？

アンケート調査対象区間に関する疑問点や、個々のご事情についてのご相談やご意見等については、お電話や小平市役所4階まちづくり課窓口にてお受けしております。ご不明な点等がございましたら、まちづくり課都市整備担当までお問い合わせください。